

# ソロモンの異変

逆傘

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

ソロモン、女になるつてよ。

# 目次

ソロモンの異変

---

1



# ソロモンの異変

——ヴァイガルドのとある村の一角、ソロモン一行は大変困惑していた。

ソロモン『なんでこんなことに…!』

シャックス『モンモンかわいいかわい〜!』

モラクス『あつ兄貴かよ!?!いや今は姉貴か…?』

マルコシアス『こんなこともあるんですね…!』

モラクスの言う通り、ソロモンが兄貴から姉貴になってしまったのだ。なぜかは分からない。しかし姉貴になっているのは事実だ。

ウエパル『なんでこんなことになってるのよ…!』

バルバトス『こんなことがあるなんて…なんだか不思議だね』

マルコシアス『それよりソロモンさん! 服着てください! 服!』

皆はお分かりだろうが、ソロモンは服の布面積が少ない。それに姉貴になったソロモンは、出るところで引つ込むところは引つ込む。つまりナイスバディなので女性の象徴が

隠れきれしていないのである。とか見えそうなのである。

ブネ『さすがにそのまんまじゃやばいよなあ…』

ウエパル『良くて痴女よ』

ソロモン『痴女？』

ガーブ『ヴィータに変なこと教えんな』

シヤツクス『これって真っ裸と同じじゃない?!』

バルバトス『どこか服屋によるうか…幸い、路銀は十分にあるしね』

一同『賛成』

こうしてソロモン一行は服を買いに行った。ただソロモンがあまりにもナイスバディすぎて入る服が限られてしまっていた。結局、ソロモンは紺色のフード付きローブを上に着ることで妥協した。他は入らなかつた。

ソロモン『みんなごめんな…』

ウエパル『いつもの格好で歩き回られるよりマシよ』

バルバトス『まさかほとんどの洋服が胸がきつくて入らないなんてね…』

マルコシアス『そうですね…途中の道で不躰な視線を感じましたし…』

ガーブ『服を買って正解だな』

シヤツクス『モンモン胸おつきーい！触っていい？』

ウエパル『やめなさい』

ソロモン『別にシャツクスならいいけど…』

ブネ・ガープ・バルバトス『やめとけ』

マルコシアス『ソロモンさん優しいですから…』

ソロモン『????』

モラクス『姉貴になってもかっこいいぜ！』

ソロモン『ありがとうモラクス…』

マルコシアス『そうだ！今からハルマに報告に行く予定でしたよね。ついでにシバの女王にこのことも報告しましょう！』

ブネ『そうだな…すぐ気づくと思うが…』

バルバトス『こんなに変わっていればね』

ウエパル『そうね。言わなくても異変に気づくと思うわ。』

こうしてハルマに向かうソロモン一行。果たしてソロモンは元に戻るのか。そして寄り付く男達をかくぐりながら輝界ハルマニアにたどり着けるのか。